施	策	名	施	策	概	要	省	庁	名	区分 (※)
再チャレン	ジ支援署	寄附金税制	年齢者・障害される。 (直) では (で) では (で) できました。 (で) できました。 (で) できました。 (で) できました。 (で) できました。 (で) できました。 (で) できました。 (で) できました。 (で) できました。 (で) で) できました。 (で) で) できました。 (で) で) できました。 (で) で) できました。 (で) で) で) できました。 (で) で) で) できました。 (で) で) で	等のの再税がりがりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり<td>ヤレンジ置 社の方と 会の手が 大と 会の 大と 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の</td><td>を講じている 見するため、高 レンジを支援す 人(※平成20 人)への寄附金</td><td>内閣府</td><td>房</td><td></td><td>0</td>	ヤレンジ置 社の方と 会の手が 大と 会の 大と 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の	を講じている 見するため、高 レンジを支援す 人(※平成20 人)への寄附金	内閣府	房		0
「地域にお ネットワー 業」のうち ステーショ	ク整備 号地域若常	Eデル事 皆サポート に係る支援	者サポートステル地域のおりでは、おければののでは、おりでは、できるでは、できないですが、地域をは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いい	一・中野の対して、一・大きでは、一・大きでは、一・大きでは、一・大きでは、一・大きでは、一・大きでは、一・大きでは、一・大きでは、一・大きでは、一・大きでは、一・大きでは、一・大きでは、一・大きでは、	」 を設置 を も ま い に 能 い に 態 に 認 に き に き に き に き に き に き に き に き に き	デうとともに、 クの中核とういる お者ないの を受けたして とって とって とって				©
農山漁村活生 支援交付金	性化プロ	コジェクト	農山漁村においった観点も路設の整備等の名する。地域再生は優先的に交付	皆まえ、農 ト種取組を E計画の認	・林・水(総合的かつ 定を受ける	つ機動的に支援		産省		0
強い農業づ	くり交付	寸金	「強い農業で 地競争力の強化 への農地の利用 安全で効率的な に向けた取組を 受けたものにつ	∴②担い具積等の∴流通シス支援する	手の育成 地域農業(テムの確う 。地域再生	の構造改革、③ 立等の課題解決 主計画の認定を		産省		©
農村コミュ化支援事業	ニティ	∮生·活性	NPO法人等 農村への定住等 による新たな事 を支援する。地 ついては優先的	Fの促進や 野業の創出 地域再生計	農村と地域などの地域 画の認定を	或活性化の取組		産省		0
漁業の担い 総合推進事 漁業再チャ	業のうち	5	漁業就業者のしている。 はではでは、漁業では、漁業では、漁業では、漁業では、漁業では、漁業では、漁業では	ヾ実施する ミチャン ミ、漁業分野 窓定を受け	就業情報のジングでの起業での起業である。	習、漁業就業支 る研修等の実施 を支援する。地		産省		0

施策名	施	策	概	要	省	庁	名	区分 (※)
山村再生総合対策事業	優れた自然や文 用した新たな産 コミュニティの ある山村づく度 *平成19年度に 措置を活用した については、本	業の創出 再生に向い を推進する 「山村力! 地域再生!	や、都市で けた取組で る。 誘発モデル 計画の認う	との交流、山村 を支援し、魅力 ル事業」の支援 定を受けた地域		産省		©
地域自立・活性化総合支援制度等 【広域的地域活性化のための 基盤整備に関する法律】	性化基盤整備計総合的な支援(成事業調整費) トに対する地域う。	画に基づ地域自立を行うと。	くソフト ・活性化3 ともに、I	交付金、国土形 民間プロジェク		通省		0
高度情報通信人材育成体系の 開発	実践的な高度 材開発及び高度 域間の受講機会 学習や育成機関 きるeーラーニ を行う。	情報通信。 の格差是〕 の連携を2	人材育成 T Eを目指 I スムーズI	し、遠隔地間の c行 <mark>う</mark> ことがで				0
情報通信人材研修事業支援制 度	情報通信分野 人材の研修事業 とにより、地方 の受講が困難な	に必要なん や中小企	怪費の一き 業を含む・	そのような研修				0
テレワーク共同利用型システ ム実証実験	平成19年度 システムの実証 最高水準のネッ た、次世代高度 た実証実験を実	実験を実施 トワーク! テレワーク	施。また、 環境を最え	大限に活用し				0
産学連携による実践型人材育 成支援事業(ものづくり技術 者育成)	地域や産業界 機的な組合せに を通じ、ものづ 及び技術を併せ 支援する。	よる教育くり分野	プログラン を革新させ	せる高度な知識		学省		0
団塊世代等社会参加促進のための調査研究(教育サポーター制度の創設)	高齢者や団塊 通じて培った経 活躍できるよう ター」制度の創 い、標準的な教	験をいか 、全国規模 設に向ける	して、学 模での「 教 た実態調	教育サポー 査及び検討を行		学省		0
産学連携による実践型人材育成支援事業(長期インターンシップ・プログラム開発)	知識基盤社会 のある人材を育 学院生を対象と 活用した質の高 実施を支援する	成するたるする、企業 い長期イン	め、産学が 業現場等の	の実践的環境を		学省		0

施	策	名	施	策	概	要	省	庁	名	区分(※)
専門職大学 推進 (専門職大: 度専門職業 ログラム)	学院等に	おける高	ため、専門職 会、職能団体	大学院等に 及び自治体 等の充実に	おいて、 等との連	能の向上を図る 産業界、学協 隽の強化に基づ 尊的な取組に対		学省		0
キャリア教 ・キャリア クト			間以上の職場 最大限活用し る。	体験等の実 、キャリア	施など、党 教育の更初					0
キャリア教・高等学校! 教育の在りご	における	キャリア	におけるキャ	リア教育、 の在り方に	②高等学村	て、①高等学校 交卒業者及び中 対を行いキャリ		学省		0
農林業等就	職促進支	援事業	係求人の集約の地方のの の地方とし、ま 業者やフリー し、職業相談	化を図るこ 動を含めた た、農林業 ター等に対 や求人等関 希望や能力	とによりた 農へに 株の、 農へ に 情報 に に に た た た た た た た た た た た た た た た た	いる農林業等関大の高農林業等職務では、のの希望を本産ののののののできません。		働省		0
シルバー人 [;] 推進	材センタ	一事業の	に、臨時的か 高年齢者に対 事を提供して	つ短期的又して、地域に高年齢者の らの知識や	は軽易な就の日常生活 の日常生活 就業機会の 経験をいた	かして地域で働		働省		0
試行雇用奨	励金(技	能継承ト	都道府県知事 て、技能継承 年者に対する 事業主に対し	の認定を受 の受け手と トライアル て試行雇用 の有無にか	けた中小1 なり得る; 雇用を実 変励金をす かわらず、	善計画について 全業者等である 35歳未満のの をおするのを を終する。 を経する。 を配する。		働省		0
若年者雇用	促進特別	奨励金	難な年長フリに、「若年者雇 により、常用」 係る負担を軽	ーターにつ 運用促進特別 雇用に移行 減し、安定 の動きが弱	いて、トラリ リ奨励金」で した事業 した雇用で	特に就職が困 ライアル雇用後 を支給育研とと 主の教育研ら を促す。支給額 おいて、支給額		働省		0

							-				
施	策	名	施	策	概	要		省	庁	名	区分 (※)
	事業主等(知・啓発、 の好事例の か、事業主	指導を徹り り収集・分 を団体と連携	底するとと 析、事業主 携を図りつ	て、事業主へ もに、企業等 への提供を行 つ、応募機会 談機能の強化	から うほ の拡	厚生労	働省		0
地域団塊世	世代雇用的	支援事業	を通じ、傘 として、キ 会やセミナ		事業主や定 コンサルテ	下、事業主団 年退職者等を ィング、就職 団塊世代の高 。	対象 面接	厚生労	働省		0
スローじ <i>A</i> レンジ支持		毛作再チャ	ローライフ	7&ジョブ ₋ ジウムの開	」や「人生	が実施する「 二毛作」を普 ページによる	及す	農林水	産省		0
農業再チャ	ァレンジョ	支援事業	供·相談的 定着段階の	g階、体験)各ステー:	• 研修段階	が実施する情 、参入準備段 た若者、団塊 する。	煯、	農林水	産省		0
	音による影		代等の持つ 農林漁業の により、団)他産業でり)経営体にる 団塊世代等の	培った経験 おける研修	が実施する団 ・能力を活用 等を支援する を農林漁業の る。	した	農林水	産省		0
人づくりに 援事業	こよる農村	村活性化支	指した教育	『プログラ』 こおける地 ^は	ムの開発及 域づくり、.	育成すること びUターン者 産業振興を担	等で	農林水	産省		0
緑の雇用技	担い手対策	策事業			・育成を図 る研修等を	るため、林業 行 う 。	就業	農林水	産省		0
うち林業領	後継者活動 マーン森材	林所有者再	する団塊σ)世代等の 管理のため	森林所有者 の情報提供	人生にチャレ に対して、所 もや現地研修st	f有森	農林水	産省		0
農業・農林レンジ総合		司参画チャ 業	性の共同参	多画を進め.	るため、高	が、農業・農 度化研修、普 供を実施する	及啓	農林水	産省		0

施	策	名	施	策	概	要	省	庁	名	区分 (※)
漁業の担い 総合推進事 漁業スキル	業のうち	5	アップの促習会、漁業	進を目的に、	海技士の 防止及び	魚船員のスキル 支能資格取得講 魚労活動中の事 習会を開催す		産省		0
林業後継者	活動支援	妥事業	成するとと 対象とした 供等、林業	もに、故郷に 所有森林の経	回帰する[営・管理(する林業(開する人材を養 団塊の世代等を のための情報提 本験学習を通じ		産省		0
起業・再起 再生事業 (政府証に 融資の推進	融機関に	よる担	動産担保保 存しない融 する。また	証制度の創設 資の推進によ	等不動産り、起業 する経営	のの貸付制度や や個人保証に依 ・再起業を支援 資源の防止を図 る。		業省		0
観光まちづ	くり人材	有成事業	た光交リ② なしサ給サ③調 例じ材地観力換一観地調、一源一観査 にて育域カスすー地の・の求活育ま 光す各をのリマるを域取合効め用成ち ちる地図	スのこ育プ雑意果らす・づら情域で現と成口み形をれる活くで報にか地にすデみ成地てこ動りに共おらでよるュ企を域おとの人に有け、直り。一座図全りに普材に、るを接、が明り体、よ及育が国観	にの講次 一、に旅り促成 たか光観取義代 事演具還行、進ネ 府らま地組をの 業す体元業観をッ すのちつみ受観 る的さ界光行り る情づける	せるプロデュー O B等の人材供 地域プロデュー		通省		0
地方におけ場活性化事		証券化市	し、地域経ため、地方の支援や不	済の活性化と における不動 動産証券化に 地方における	土地の流動 産証券化1 係る実施3	の拡大を実現 動化を促進する に関する講習会 過程の分析・検 ノウハウ蓄積と		通省		0

施策名	施	策		要	庁	名	区分 (※)
広域ブロック自立施策等推進 調査費	地域の発意にの多様な主体がのの発達の具体がある。	が協働して 治働を、関 動的に支 が目指す	取り組む広係各府省や 援すること 多様な広垣	や地方公共団体:により、新た ばブロックの自	通省		0
二地域居住等支援のための総合情報プラットフォームの整備等に関する調査		ともに、	地域の情報		通省		0
UJIターン支援プロジェクト事業	リンス リンス リン表、材会の が体が、 が体が、 が体が、 が体が、 が体が、 でででででいる。 でででである。 でででは、 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 でである。 でである。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	₹現を業のでです。 まででは、 まででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	ため、地方 POの各種取 ガイランオ ・動の体がを 動の体の 動力団体の も 方面体の も	●画する協議会 双組(居住・就 は等)を通じた 5圏居住者を地 5通じ地域の活	通省		0
エコツーリズム総合推進事業 費	エコツーリス 自然環の保全 生かしたという を図支援、 へのする。	≧に配慮し ノーリズム 音及啓発、	つつ、地域 のより一層 法に基づき	骨の普及・定着 取り組む地域			0
SATOYAMAイニシア ティブ推進事業費	地域の自然環域活動に参加し 所の登録と専門 の担い手を求め 介する。	たい団塊 関家による	の世代等の 研修を組み	合わせ、活動			0